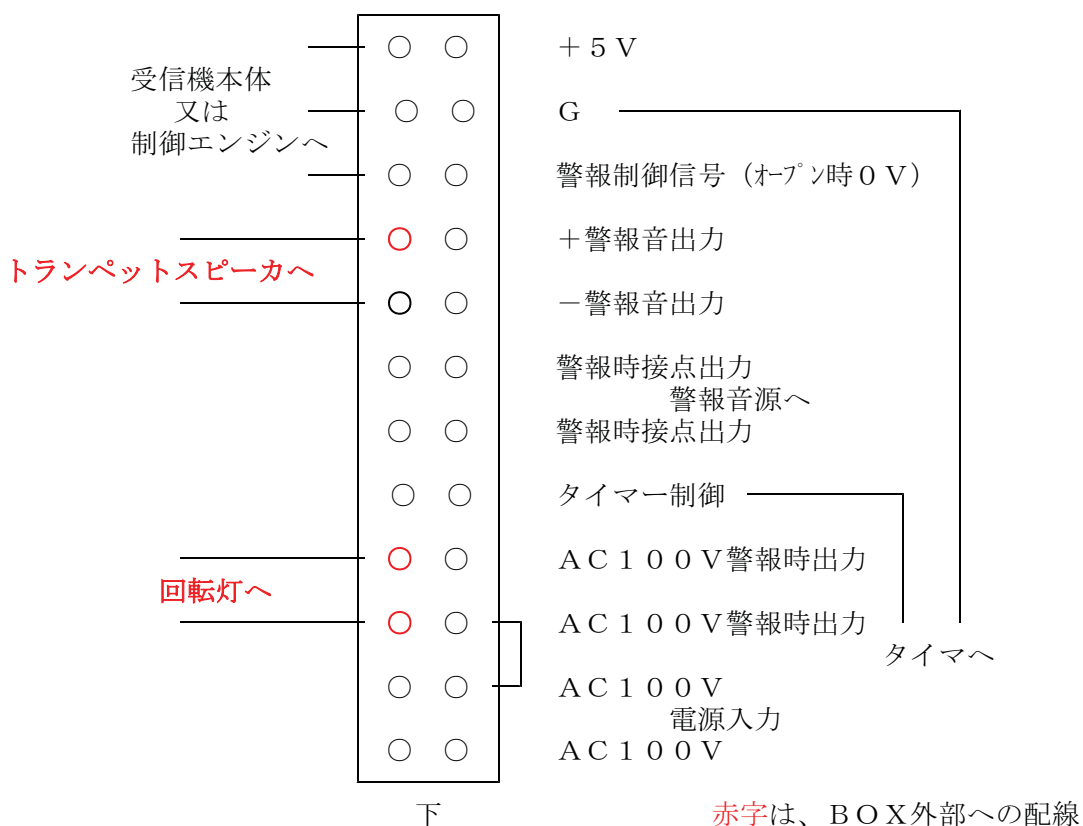
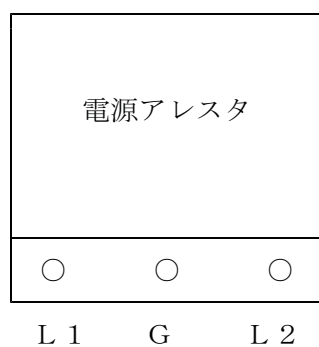


端子板結線図



φ 3.5 の圧着端子をご使用下さい。

商用電源 (AC 100V) は、電源アレスタに接続し給電します。



L1 / L2 に、AC 100V を接続 / 給電して下さい。
 G は、接地用アース端子です。
 同軸用アレスタのアース端子と合わせ、アース棒に接続して下さい。

φ 4 の圧着端子をご使用下さい。

サル接近警戒システム＝猿人善快＝ 施工についての補足／積雪150cm未満

1. 施工に含まれる諸材料（施工業者の方に用意いただくもの）

- ・ 鋼管柱 φ89 4～5m長（地中に1m埋設）
- ・ 同上用寝かせ
- ・ 同上鋼管柱に、日東OP20-45を取り付ける金具
- ・ サブポール（φ40程度）及び、メインポールへの取付具
- ・ アース棒（900～1000mm程度）

2. 配線に関わる諸材料

- ・ 商用電源の引き込みに必要な線材、及び漏電ブレーカー／収納ボックス
- ・ 1.25 x 2 VCT
回転灯 ～ 装置本体間
トランペットSP ～ 装置本体間
- ・ 1.6～2.0 IV線
アース棒 ～ 装置本体間
- ・ 電線保護に必要なVP管、CD管および接続具
上記配線以外に、アンテナ用同軸ケーブル（5D-2V／装置側で用意）が1本、アンテナから装置本体間を結びます。
- ・ 保護管類、およびトランペットSPを取り付けるステンレスバンド

3. 施工内容

φ89にサブポール（φ40程度）を抱かせた柱を建柱し、サブポールにアンテナ・回転灯を取り付け、適当な箇所（必要な方向に向くよう）にトランペットスピーカーを取り付け、OP20-45に収納された本体を取り付けます。
受信アンテナ・回転灯は、φ30～60のサブポールに取り付け出来るよう金具類を添付しています。

A. 鋼管柱の建柱

- ・ アンテナ組立／付属金具でサブポールに取付
- ・ 回転灯／付属金具に取付後、Uボルトでサブポールに取付
- ・ トランペットSPは、ステンレスバンドで取付（固定）
- ・ アース棒埋設（打ち込み）

装置接続箇所までの必要配線

B. 装置本体の取付

OR20-45の中に、＝猿人善快＝本体を収納

- ・ 本体（OP20-45）をφ89柱に固定して下さい。

C. 商用電源の引き入れ

- ・ 商用電源の引き込みに際し、必要であればブレーカー／リミッタを内蔵するプラボックスを別途ご用意下さい。
- ・ 定額契約をなさる場合に必要と思われる装置の最大消費電力は、60Wです。

参考写真集(φ89商用電源型)



φ89支柱にφ40程度のサブポールを抱かせて建柱します
アンテナ・回転灯はサブポールに取付(取付金具はシステムに添付)
トランペットスピーカーは、必要な方向に向けて取り付けます



＝猿人善快＝本体は、OP20-45屋外用プラボックスに収納されています
本体側に見える小型のプラボックスは、ブレーカー／リミッタを収納するためのものです



取付用サドル

配線保護
塩ビ管など

猿人善快
本体

電力会社より支
給されるブレー
カーを収納

トランペット
スピーカー

配線保護
P F管など





配線は、パイプを通し
最後は、PF管などを
使用して引き込みます

- ・電灯線
- ・アンテナ
- ・回転灯
- ・トランペットスピーカー

アース線の引き込み

電流制限器を別付けする必
要がある場合は、別途BOX
が必要になるケースも(定額
契約時など)

施工例

取付金具類は
ご用意します

φ39~51
コンジットパイプ

φ89
Eポール

